

2013年度 IR決算説明資料

2014年5月13日

日本テレビホールディングス株式会社

**本説明会及び資料の内容には、
将来に対する見通しが含まれていることがあります。
しかし、実際の業績は、
さまざまな状況変化や要因により、
これらの見通しと
大きく異なる結果となり得ることがあり、
何らの保証やコミットメントを
与えるものではありません。ご了承下さい。
また、本資料の無断転載はお断りいたします。**

決算のポイント

□2013年度決算は増収増益

□好調な視聴率を背景に、スポット収入増収

□2014年度は将来を見据えたビジネス展開に
向けたチャレンジの1年

～Huluの日本での事業を承継し

本格的な定額制動画配信サービスに参入～

連結 売上高・利益

(百万円)

	2012年度	2013年度	増減率 (%)
売上高	326,422	341,720	4.7
営業利益	35,429	40,089	13.2
経常利益	42,184	47,845	13.4
当期純利益	25,283	27,827	10.1

日本テレビホールディングス単体 & 日本テレビ放送網 業績

(百万円)

	(参考) (旧)日本テレビ単体	日本テレビホールディングス &日本テレビ放送網 簡易連結数値	
	2012年度	2013年度	増減率(%)
売上高	273,930	285,366	4.2
営業利益	28,805	32,802	13.9
経常利益	32,567	37,034	13.7
当期純利益	17,873	20,798	16.4

テレビ広告収入 -地上波放送(日本テレビ放送網)-

(百万円)

	2012年度	2013年度	比較	増減率 (%)
テレビ広告収入	221,414	228,014	6,599	3.0
タイム	112,455	113,631	1,176	1.0
スポット	108,958	114,382	5,423	5.0

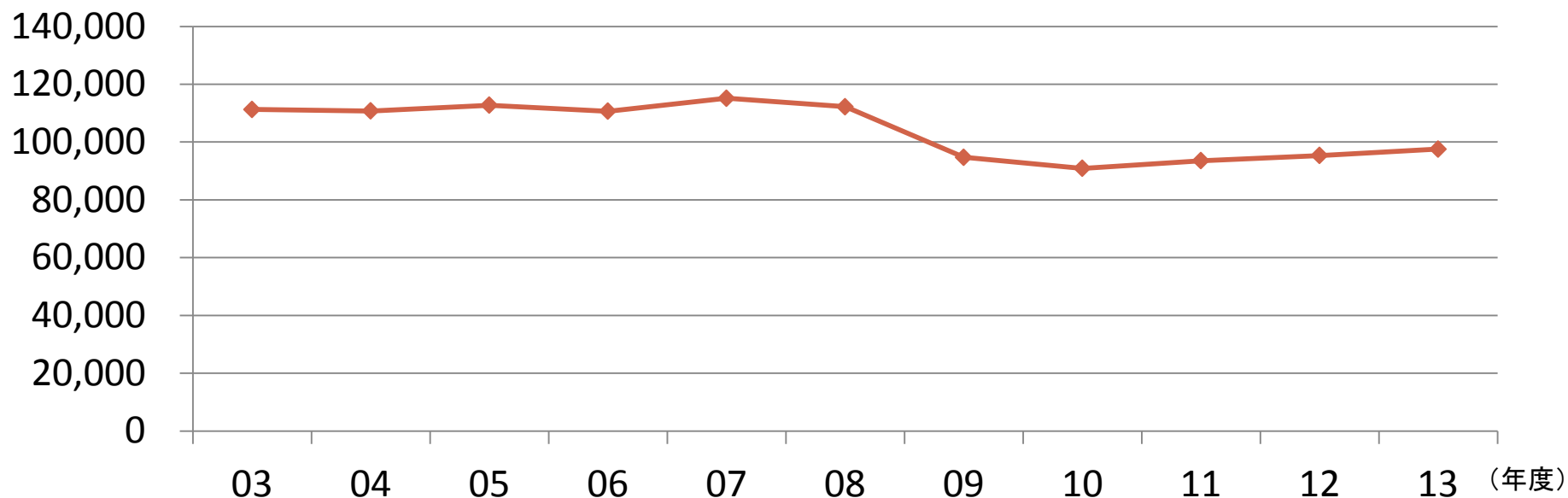
番組制作費 -地上波放送(日本テレビ放送網)-

(百万円)

2012年度	2013年度	比較	増減率(%)
95,349	97,543	2,193	2.3

(百万円)

年度別 番組制作費推移



主な事業収支の概況

(百万円)

有料放送	2012年度	2013年度
収入	6,410	7,190
費用	3,502	3,683
収支	2,908	3,507

映画事業	2012年度	2013年度
収入	10,115	9,912
費用	9,088	10,259
収支	1,027	△347

通販事業	2012年度	2013年度
収入	10,917	10,168
費用	10,420	9,964
収支	497	204

イベント事業	2012年度	2013年度
収入	4,846	5,855
費用	4,110	4,974
収支	736	881

主なグループ各社の状況

(百万円:未滿切捨)

2013年度	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	金額	増減率(%)	金額	増減率(%)	金額	増減率(%)	金額	増減率(%)
BS日本	14,237	23.8	2,799	71.5	2,901	73.6	2,336	52.6
シーエス日本	5,037	△2.8	797	△15.4	817	△13.5	531	△9.6
日テレ・テクニカル・リソース*	10,107	9.7	316	9.5	357	4.6	201	△0.5
日テレ アックスオン	21,266	8.0	1,784	△4.2	1,804	△4.1	1,023	△7.6
日テレイパッツ	2,329	12.6	109	238.8	118	153.1	67	152.9
日本テレビアート	8,117	0.3	374	△13.0	395	△13.1	234	△13.8
日本テレビ音楽	10,090	9.5	1,582	17.5	1,830	23.7	1,101	23.8
パップ	22,200	△22.8	268	△75.7	443	△63.3	281	△62.0
日本テレビサービス	4,190	34.4	226	226.8	255	148.1	91	—
日本テレビワーク24	4,450	18.5	118	18.5	126	17.8	69	17.7
フォアキャスト・コミュニケーションズ*	3,087	△6.2	134	△24.7	153	△19.2	87	△20.6
日テレ7	3,825	9.4	152	△25.4	154	△25.4	93	△26.9

業績予想と前提

2014年度連結業績予想

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第2四半期	171,200	13,100	15,700	9,400
通期	353,400	35,300	40,000	24,800

地上波テレビ広告収入と制作費 予想の前提(前年同期比)

	上期予想	下期予想	通期予想
テレビ広告収入	0.4%	-2.0%	-0.9%
タイム	1.4%	-4.0%	-1.4%
スポット	-0.7%	0.0%	-0.3%
制作費	4.1%	-7.4%	-1.7%

配当予想

(単位:円)	第2四半期 普通配当	期末 普通配当	期末 記念配当	年間配当 合計
2012年度	90円※	20円	—	—
2013年度	9円	20円	5円	34円
当期配当予想	10円	20円	—	30円

2013年度の期末配当25円には、普通配当20円以外に、日本テレビ開局60年記念配当5円が含まれております。

※当社は2012年10月1日付にて普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行いました。2012年度第2四半期以前の1株あたり配当金につきましては株式分割前の数値で算定しております。

好調な視聴率

☆2013年 年度視聴率「全日」「ゴールデン」1位！

- ・「全日」「ゴールデン」1位、「プライム」2位の二冠獲得！
- ・世帯視聴率と個人視聴率の両立。
→引き続きクライアントニーズの高い視聴者層の獲得。

☆2014年 年間視聴率三冠王で推移！

- ・「全日」「プライム」「ゴールデン」1位の三冠王を維持。
- ・1月クール三冠王獲得。4月月間三冠王獲得。
- ・昨年12月から4月まで月間三冠王獲得を五ヶ月連続で獲得。
- ・系列局11地区同時に4月月間三冠王達成

☆10月改編、1月改編の成功と4月も好調維持

- ・1月クール比較で昨年より各ゾーンの視聴率アップ。
- ・4月月間視聴率も昨年比で上昇

2013年「年度」視聴率

期間:2013/04/01～2014/03/30

* 表示は左からデジタルチャンネル順

	NTV	EX	TBS	TX	CX	2位局との差 (昨年の差)
全日	① 8.1	7.7	6.2	3.0	7.0	+0.4
	(+0.2)	(Δ0.1)	(Δ0.4)	(+0.1)	(Δ0.1)	(+0.1)
プライム	② 12.0	12.1	9.6	6.8	10.8	Δ0.1
	(+0.1)	(Δ0.6)	(±0.0)	(+0.4)	(Δ0.2)	(Δ0.8)
ゴールデン	① 12.1	11.8	9.7	7.2	10.5	+0.3
	(±0.0)	(Δ0.6)	(+0.2)	(+0.4)	(Δ0.4)	(Δ0.3)

* 世帯視聴率・ビデオリサーチ調べ

2014年「年間」視聴率

期間:2013/12/30～2014/05/11

* 表示は左からデジタルチャンネル順

	NTV	EX	TBS	TX	CX	2位局との差 (昨年の差)
全日	① 8.4	7.6	6.0	3.3	7.1	+0.8
	(+0.2)	(Δ0.6)	(Δ0.7)	(+0.3)	(+0.1)	(±0.0)
プライム	① 12.4	11.9	9.6	7.2	10.6	+0.5
	(+0.4)	(Δ0.9)	(Δ0.4)	(+0.6)	(Δ0.1)	(Δ0.8)
ゴールデン	① 12.5	11.3	9.8	7.7	10.4	+1.2
	(+0.4)	(Δ1.2)	(Δ0.3)	(+0.7)	(Δ0.2)	(Δ0.4)

* 世帯視聴率・ビデオリサーチ調べ

2014年「年間」視聴率上昇

期間:2013/12/30～2014/05/11

	全日	プライム	ゴールデン	ノンプライム	プラチナ
	6時～24時	19時～23時	19時～22時	全日ープライム	23時～25時
日テレ	①8.4%	①12.4%	①12.5%	①7.3%	②6.7%
前年同期比	+0.2%	+0.4%	+0.4%	+0.2%	+0.6%

* 世帯視聴率・ビデオリサーチ調べ

2014年度 4月改編について

☆日テレビジョン

「見たい、が世界を変えていく。」

☆編成テーマ

「いつでも、どこでも、日テレカラー」

☆4月改編

- ・前向きなGP無改編(ドラマを除く)
好調番組の継続による完成度向上と視聴者の定着
- ・話題性の高い新ドラマのラインナップ
- ・引き続きベルト番組が高視聴率を維持
- ・プラチナタイムの視聴率上昇
「ZERO」「プラチナイト」枠の高視聴率



次頁から
補足資料です

定額制動画配信事業 Hulu



☆Huluについて

《サービス形態》

SVOD(定額制動画配信) 月額933円(税抜)ですべてのコンテンツが見放題

《鑑賞可能なコンテンツ》

海外と日本のTVドラマ・映画・アニメなどを中心に(常時)13,000本以上

《視聴可能デバイス》

マルチデバイス対応

テレビ(ネット接続可能な)、PC、タブレット端末、スマートフォン、ゲーム機等

《運営会社》

HJホールディングス合同会社

(2014年4月1日に日本テレビ放送網が持分の100%を取得し、子会社化)

HJホールディングス合同会社

☆「Hulu,LLC(米)」からブランドとテクノロジーに関するライセンスを受け、インターネットを通じてユーザーの嗜好に合わせたコンテンツを配信する伝送路を持つことにより、定額性動画配信ビジネスを手掛ける。

☆事業推進案

・新たな会員(層)の獲得

海外ドラマコンテンツという強みに加え、国内コンテンツの充実
プロモーション強化

・オリジナルコンテンツ

Huluでしか観られないコンテンツの展開

(テレビ放送素材特別編集、ディレクターズカット、オリジナルドラマなど)

*「市川海老蔵に、ござりまする。Hulu ver.2014年春」近日配信予定

・クロスメディア戦略

新作映画公開に合わせた、過去シリーズの配信

☆当年度は会員数の増加をめざし、コンテンツ調達費・プロモーション費を戦略的に投入。
2014年度営業損失予想 30億円 (2016年度単年度黒字を目標)

営業収入 -日本テレビホールディングス&日本テレビ放送網 簡易連結-

(百万円)

	2012年度	2013年度
テレビ広告収入	221,414	228,014
タイム	112,455	113,631
スポット	108,958	114,382
番組販売収入	10,555	10,902
事業収入	38,527	41,338
不動産賃貸収入	3,216	3,148
経営指導料等	217	1,962
合計	273,930	285,366

営業費用 -日本テレビホールディングス&日本テレビ放送網 簡易連結-

(百万円)

	2012年度	2013年度
番組制作費	95,349	97,543
支払電波料	29,086	29,276
代理店手数料	39,089	40,557
人件費	21,960	21,732
減価償却費	5,843	6,367
事業費	32,907	36,365
諸経費	20,889	20,720
合計	245,125	252,563

日本テレビ放送網・ホールディングス単体の業績概況内訳

(百万円)

	(参考) (旧)日本テレビ 単体	日本テレビ 放送網	日本テレビ ホールディングス 単体	日本テレビHD& 日本テレビ放送網 簡易連結数値	増減率 (%)
	2012年度	2013年度	2013年度	2013年度	
売上高	273,930	282,973	6,936	285,366	4.2
営業利益	28,805	29,090	3,712	32,802	13.9
経常利益	32,567	31,818	5,215	37,034	13.7
当期純利益	17,873	16,983	3,815	20,798	16.4

- ・日本テレビ放送網(事業会社日テレ)は、放送事業(コンテンツ事業)中心です。
- ・日テレホールディングスは、グループ各社からの経営指導料等と不動産収入(一部)を主な収入としており、人件費が主な費用となっています。

テレビ広告収入 -地上波放送(日本テレビ放送網)-

タイム	2012年度	2013年度
4月	5.8%	△2.7%
5月	3.7%	3.2%
6月	7.7%	2.2%
7月	4.7%	△6.7%
8月	18.8%	△7.6%
9月	△2.5%	1.8%
10月	△2.3%	1.6%
11月	1.6%	3.2%
12月	6.0%	1.0%
1月	△1.0%	3.8%
2月	△4.4%	14.8%
3月	2.8%	0.4%
4-3月	3.3%	1.0%

スポット	2012年度	2013年度
4月	23.3%	△4.8%
5月	36.2%	△2.5%
6月	6.2%	6.6%
7月	6.0%	0.6%
8月	△7.9%	23.3%
9月	△6.9%	15.6%
10月	△12.0%	11.3%
11月	△2.0%	7.7%
12月	1.0%	△2.0%
1月	9.3%	2.4%
2月	6.5%	10.6%
3月	0.8%	2.9%
4-3月	4.2%	5.0%

スポット業種別売上シェア -地上波(日本テレビ放送網)-

2012年度		シェア 増減率(%)		2013年度		シェア 増減率(%)	
1	化粧品・トイレタリー	10.8	△ 8.4	化粧品・トイレタリー	11.8	15.3	
2	運輸・通信	9.6	14.3	運輸・通信	9.2	1.0	
3	輸送機器	8.3	17.5	輸送機器	8.2	4.1	
4	薬品	7.1	2.8	薬品	6.6	△2.3	
5	電気機器	6.7	2.4	金融・保険業	6.3	43.3	
6	映画・演劇興行	5.4	9.5	非アルコール飲料	6.0	16.6	
7	非アルコール飲料	5.4	8.3	電気機器	5.5	△13.2	
8	卸売・百貨店	4.8	4.1	サービス	5.4	30.9	
9	金融・保険業	4.6	8.9	映画・演劇興行	4.2	△17.1	
10	サービス	4.3	0.1	卸売・百貨店	3.9	△16.5	

* 増減率は実績の前年同期比。内部管理数値です。

日本テレビ放送網事業収支

2013年度 事業種別収支

(百万円)

	収入	費用
有料放送	7,190	3,683
ライツ	2,819	1,647
通販	10,168	9,964
出版	372	572
映画	9,912	10,259
イベント	5,855	4,974
海外ビジネス	966	420
その他	4,056	4,846
合計	41,338	36,365

設備投資と減価償却

(億円)

2013年度	設備投資額	減価償却費
連結	92	71

連結予想	設備投資額	減価償却費
2014年度	177	78
2015年度	197	75
2016年度	118	88

* 予想数値は内部管理の数値です。今回予想の変更はありません。

セグメント別 実績

(百万円)

2013年度	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結 損益計算書 計上額
	コンテンツ ビジネス事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高	336,294	10,703	346,997	4,190	351,188	△9,467	341,720
セグメント利益	36,059	4,258	40,318	226	40,545	△456	40,089

事業区分	主な事業内容
コンテンツビジネス事業	テレビ広告枠の販売、有料放送事業、動画配信事業、映像・音楽等のロイヤリティ収入、CD・DVD/BD・出版物等の販売、通信販売、映画事業、イベント・美術展事業、コンテンツ制作受託
不動産賃貸事業	不動産の賃貸、ビルマネジメント

2014年度 直近の主なイベント予定

期間	イベント名	内容
4/19～6/29	「こども展」 名画にみるこどもと画家の絆	(森アーツセンターギャラリー) モデルは可愛らしい子どもばかり。描いたのはモネ、ルノワール、ルソー、マティス、ピカソといった錚々たる画家約50名。パリで約20万人に愛された美術展がついに来日。
7/9～10/20	「オルセー美術館展」 印象派の誕生～描くことの自由～	(国立新美術館) 印象派の殿堂、オルセー美術館から選りすぐりの名画が集結。マネ、モネ、ルノアール、ドガ、セザンヌなど印象派の画家たちの作品を中心に、オルセー美術館の「顔」となる名画が集結。
7/9～7/27	ブロードウェイ・ミュージカル 「ブリング・イット・オン」	(東急シアターオーブ) チアリーディングとブロードウェイの才能が初タッグ！ 観れば必ず元気をもらえるミュージカル「ブリング・イット・オン」がブロードウェイより初来日。
7/19～7/23	「ディズニー・オン・アイス」 デア・トゥ・ドリーム	(国立代々木競技場・第一体育館) ディズニープリンセスが冒険の空を飛び、夢を叶える物語。 白雪姫、塔の上のラプンツェル、シンデレラなど、夢をあきらめないプリンセスたちが、強い心をもって願いを叶えていきます。
8/9～8/17	「トランスフォーマー博」	(パシフィコ横浜 展示ホールB・C) 日本で生まれ、ハリウッドが惚れ込んだ 日本初！世界最大級の「変形(トランスフォーマー)」 空間体験イベント！

2014年度 映画事業 今後の主なラインナップ

作品名		配給	備考
5/30	「MONSTERZ(モンスターズ)」★	ワーナー ブラザーズ	「見える人間すべてを操る男」VS「唯一操られない男」 藤原竜也・山田孝之の日本最強実力俳優初共演。 「デスノート」を超えるサイコサスペンスアクション。
7/19	「思い出のマーニー」	東宝	2010年邦画No.1ヒット作品「借りぐらしのアリエッティ」のスタジオジブリ米林宏昌監督作品。12歳の小さな身体に大きな苦しみを抱えて生きる杏奈と、その前に現れる謎の少女マーニーの物語。
8/16	「ホットロード」 ★	松竹	悩みと孤独を抱えながら生きる少女とバイクに命をかける少年、2人の姿を描いた伝説的漫画の実写映画化。 「あまちゃん」の能年玲奈、登坂広臣、映画初主演!!
11月	「TWILIGHT ささらさや」 ★	ワーナー ブラザーズ	突然の事故で夫を失った さや。しかし奇妙な事件が起きる度、亡き夫が他人の姿を借りて助けに来てくれる。 出演は新垣結衣、大泉洋。この秋一番笑って泣ける感動作。
12月	「寄生獣」(PART 1) ★	東宝	ハリウッドが映画化を熱望した伝説のコミックが、遂に実写化。 2014-5年のお正月映画&GWの2部作で公開! 出演は、染谷将太、深津絵里、橋本愛 他。
2015年	「ジョーカーゲーム」 ★	東宝	数々のエンタテインメント文学賞を総なめにしたスパイアクションの映画化。架空の第二次大戦中、異能の天才スパイが繰り広げる決死の頭脳戦。 出演は、亀梨和也、伊勢谷友介、深田恭子 他。

★日本テレビ幹事作品